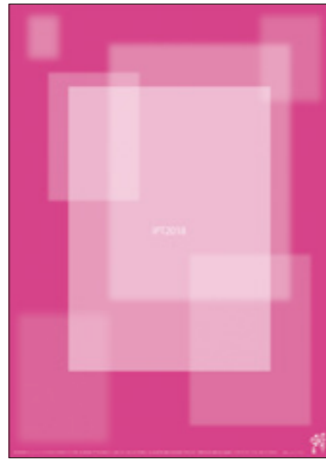




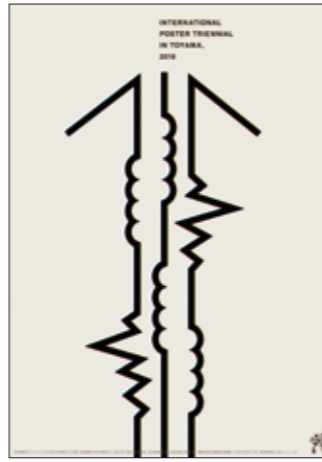
第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018  
IPT2018 応援ポスター  
テーマ「IPT2018」

主催／「ポスターの街・とやま」実行委員会  
協力／富山県印刷工業組合  
〔朝日印刷(株)・キクラ印刷(株)・北日本印刷(株)・(株)すがの印刷・(株)チューエツ  
とうざわ印刷工芸(株)・富山スカキ(株)・中村印刷工業(株)・(株)ニッポー・(株)山田写真製版所〕  
富山県洋紙会・TOYAMA ADC



櫛 昭治

生まれては消えてゆく街のポスター。しかし、次々に生まれてくるポスターのエネルギーが街に活気を与えている。



大野時男

新鮮な驚きと感動で、いつも時代を見つめ揺すり動かし、人の心を豊かにしてくれるポスター。そんなパワーが世界から集まるIPTは新しい時代を感じさせてくれるとともに、明日への可能性に満ちている。



門嶋隆裕

ポスターには深い奥行きがある。



彼谷雅光

ポスターの時代ではないとの声がある。はたしてそうか？ 多様なメッセージを1ビジュアルで集約する機能は、今後の社会において益々重要になるのでは。そんな未知のポテンシャルを秘めたポスターの未来をデザインした。



久保田光明

IPTを通して、ポスターがどこか遠いモノではなく、日常の中で生まれた感情やメッセージの形であり、血の通った体温のあるモノとしてより多くの人に届いてほしいという思いから制作した。



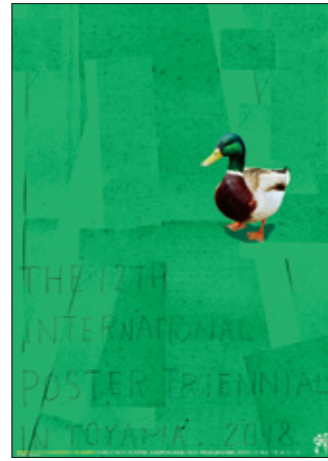
越川広貴

普段、見慣れている景色も視点を変えることで新しい印象を与える一枚のポスターが生まれます。世界の国々を超えて富山(立山)に集まったポスター(渡り鳥)を表現しています。



島野ひとみ

IPTでアイデアを芽吹かせよう！



高嶋鮎美

IPTを見に行ったとしたら、帰り道のあなたは来た時より少しだけ違うかも。



滝川正弘

世界ポスタートリエンナーレ富山の略名「IPT」をタイポグラフィによりインターナショナルで多彩なポスターデザイン展であることを表現。



田中祐樹

日本と、これからの世界で活躍する子供達へのメッセージ「YOU CAN DO IT」(君なら出来る)を表現しました。



寺越寛史

世界中から数多くのポスターが集まるIPT。ポスター1枚にはデザイナーとたくさんのスタッフが携わり思いを込めて作っています。その様子を工場のイラストで表現しました。

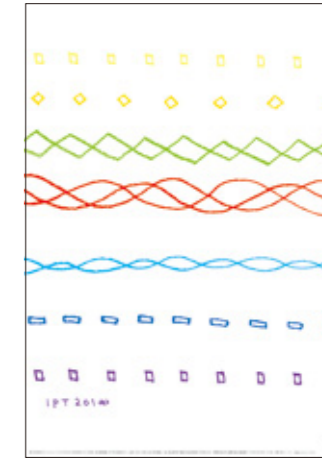


橋爪礼子

1985年から3年毎12回にわたって行われたポスター展。世界各国から作品がここ富山に集結し、繰り広げられたポスターコンペの時の流れを表現しました。



橋本利久

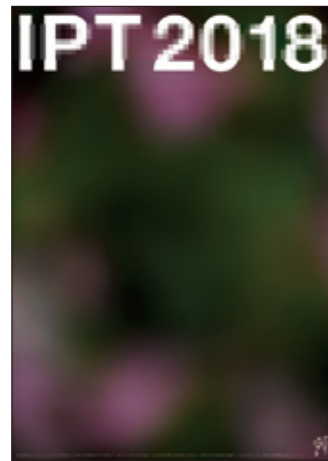


橋本麻理子

ポスターと富山の関わりを、シンプルな形やラインの連続で表現しました。また、街から生まれるエネルギーが、無限に続く様子をイメージしました。



はせがわさとし



羽田 純

私たちは、見えないから、見えるよりも見ようとする。



林 久美

英字と日本語は時々、近くなったりする。うまく重なればお互いが生きるかも知れない。



平野 暉

時折に目にする「お年寄りを大切にしよう」私もそれには賛成です。しかしながら基本的は無関心(自分の祖父母以外)。若者目線からの高齢者たちとのギャップを画像で表現しました。



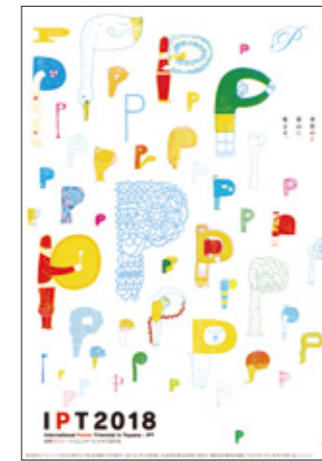
三海誠二

バベルの塔は、傲慢さに対する戒めとして認識されているが、人間の持つ情熱とチャレンジ精神の一面も垣間見える。何かを表現したい、作りたいという欲求は、人の中に常に内在している。IPTはそんな情熱が集まる場所。



宮田裕美詠

明るくて新しい光と力に満たされるような。



山口久美子

世界のポスターが富山に集まります！



吉野光男

無の状態から創作され生まれてくるポスターのイメージを表現。